

リーダーシップ方式の流れ

1 時限 導入・講義・資料の理解 10:00-10:20 (20分) 2号館 803教室

▶ 講義 (約10分)

- ・ A 4 白紙用紙にメモ可能

2 時限 個人ワーク① 10:20-10:40 (20分) 2号館 803教室

▶ ジャーナルを読み、講義内容を踏まえて、各自出願時に提出した小論文の内容を3時限のグループワークで、3分以内で発表できるように再構成する。

- ・ A 3 用紙、A 4 用紙、赤・黒マーカーは使用可能

休憩① 10:40-11:00 (20分) 教室移動含む

3 時限 グループワーク 11:00-12:00 (60分)

2号館 804・805・806・807教室 (グループ毎に分かれて実施)

▶ 2時限の個人ワークで準備した内容を用いて、個人発表、質問、フィードバックを行い、続いてディスカッションのグループワークを行う。

1. 個人発表 (3分)、グループメンバーからの質問とフィードバック (5分) 計8分/1人
2. 全員が1.を終了後、グループディスカッション12分/4人グループ (3人グループの場合は9分)

休憩② 12:00-12:20 (20分) 教室移動含む

4 時限 個人ワーク② 12:20-13:10 (50分) 2号館 803教室

▶ 3時限のグループワーク時に観察したことや気づいたことを含めて以下の2つの設問について、レポートを書く。

設問1. 3時限のグループワークにおいて他のメンバーが行った質問やフィードバックでよいと思ったものを SBIのフォーマット で書いてください。(3つまで)

S: どのような場面で (Situation)

B: どのような行動が (Behavior)

I: グループの学びにどのようなよいインパクトを与えたか (Impact)

設問2. 本日のグループワークを通じて、あなたが実践し、グループメンバーとともに体験し、観察したリーダーシップ行動について、1時限、2時限の学びを踏まえて、具体的に書いてください。難しかった点、次回行う場合の改善点も記載すること。(800字)

解散

以上

科 目	学 部	学 科
個人ワーク①	ビジネス学部	ビジネス学科

1. リーダーシップを学ぶ

「権限によらないリーダーシップ」には、一般的に多くの人がイメージするリーダーシップとは違い、生まれつきの才能や能力は必要ありません。あくまでも「態度」と「スキル」によって発揮されるものですから、適切な方法で練習をしていけば、誰でも身につけることができます。

となると、具体的に「どのような練習をすればいいのか」が問題になりますよね。さらに高校や大学などで実施するリーダーシップ教育のプログラムを受講するのではなく、独学で習得できるものなのだろうか、という疑問も湧くかもしれません。

普段の授業でも、リーダーシップの練習はできます。たとえば、授業でわからないところがあったら、思い切って手を挙げて質問してみる。「わかって」という目的意識の明確化と率先垂範の行動です。これが、他のクラスメイトたちの「私も質問してみよう」という行動を引き出し、その結果、クラス全体の学びを深めていくことにつなげていけたら、そこにはリーダーシップが機能していることになります。ちょっと意識を変えるだけで、普段の授業でも十分にリーダーシップのスキルを磨いていけるのです。

いかがでしょうか。あなたの毎日の生活を見回してみると、いくらでもリーダーシップを練習する場はありそうだと思いますか。

2. 「練習」の流れを知ろう

リーダーシップの練習を具体的にどう進めていくのかを見ていきましょう。まず大きな枠組みとして、次のような流れになります。

- （1）「目標」を立てる
 - ・そのグループが達成したい目標（成果目標）、あるいは解決したい問題を設定し、共有する
 - ・その実現に向けて、何をすればいいのかを出し合い（「行動計画」）、「役割分担」を決める
- （2）「行動」してみる
- （3）行動したことに對して、「フィードバック」を交換する
- （4）フィードバックに基づいて内省し、「改善計画」を立てる
- （5）振り返り（1）～（4）を繰り返す。

・二周目以降は、グループの状況を見て、当初決めた目標や行動計画、役割分担などについて、そのままでもいいのか見直し、必要に応じて、修正、変更していく

リーダーシップの練習においては、（1）～（4）を繰り返し行っていくことになります。つまり、目標を立て（二周目以降は見直し&修正）、行動して、フィードバックして、内省し、改善計画を立てる。このサイクルを毎回繰り返していくわけです。その中で、リーダーシップスキルを身につけていきます。

3. フィードバック

フィードバックとは

フィードバックとは、ある人が行った発言や行動に対して、「ここがよかった」「あそこは、こうすると

もっとよかったのでは」など、まわりがどう感じたのか、どう見たのかなどを伝えていくことです。それによってリーダーシップ三要素それぞれが他者から見てても発揮できている状況にもっていきます。

発するときには、「S・B・I」の三つを盛り込む

具体的なフィードバックのやり方を見ていきましょう。フィードバックをお互いの成長につなげるためには、「発し方」と「受け入れ方」それぞれである程度のスキルが必要です。そこで、まず「発し方」から見ていくことにしましょう。

相手に対してフィードバックをするときに意識してほしいのは、「S・B・I」の三つがすべてそろっていることです。「S」は「Situation（状況）」、「B」は「Behavior（行動）」、「I」は「Impact（影響）」の頭文字をとったものです。

つまり、適切なフィードバックとは、たとえば「あなた（フィードバックの相手）が、あのときに（状況）、こういう質問をしたことで（行動）、議論がこういう方向に変わった（影響）」というふうに三つの要素が盛り込まれていることが肝心だ、ということです。

たとえば、「状況（S）」がなければ、「このときの」と特定化できないので、その人の性格分類になってしまう可能性があります。そうなるとフィードバックの目的からそれてしまいます。

また、リーダーシップとは行動や発言として表現されるものですから、どの「行動（B）」か、を伝えることは必須です。さらに、リーダーシップとは、「他者に影響を与えること」ですから、「影響（I）」について言及しなければ、その人のリーダーシップについてフィードバックしたことにはなりません。

つまり、「S」も、「B」も「I」もそろっていなければ、適切なフィードバックには成り得ないのです。

4. フィードバックに基づく内省（振り返り）の重要性

コルブ*は、私たちは2つの方法で新しい情報を得ると述べています。1つはやってみること（経験）で、もう1つは考えること（抽象的な概念化）です。その後、その情報を、経験の振り返り、熟考（内省的観察）、または情報の応用（能動的な試み）によって処理します。

リーダーシップの学びの多くは、目標に向けて活動する集団でのリアルな経験のなかで起こります。たとえば、何か経験したとします。その経験から学びを得るために、そのことを振り返り、その経験の意味を見いだします。なぜそのようなことが起こったのか、それは何を意味しているのか自分に問いかけます。次に、それについて仮説を立て、その過程において、他者にもそれが当てはまるか、他の状況にも適応できるかについて考えます。また、その他の既存の情報との関連性を見いだします。その後、この新たな理論や学びを実際の状況に応用し、自分が想定する結果がもたらされるか検証します。そしてこのサイクルは続きます。

コルブは、私たちに起こることは、振り返らないかぎり「経験」にはならないと述べています。振り返りがなければ、出来事はただの出来事です。出来事の深い意味を探るための振り返りをしなければ、多くのことは、そこから何も学べないままただ過ぎてしまうのです。

*コルブ：アメリカの教育理論学者

【引用】

1,2,3 『高校生からのリーダーシップ入門』日向野幹也著

4 『リーダーシップの探求』日向野幹也監訳

グループワーク目的シート

発表と質問・フィードバック、ディスカッションでめざすこと（目的）は
全員がグループ内で、

- (1) 発表を時間内に終えること。
- (2) 発表者の発表内容を理解すること。
- (3) (2)について発表者を含む全員の理解がいつそう深まるように、
質問・フィードバックをすること。
- (4) ディスカッションを通じて、それぞれがリーダーシップに関する理解を深めること。
- (5) (4)について、グループメンバーが互いに協力し合うこと。

以上

【3時限】グループワーク

— 班	受験番号	氏 名

科 目	学 部	学 科	分野・コース	
個人ワーク②	ビジネス学部	ビジネス学科	—	
受験番号	氏 名			採 点

設問1 3時限のグループワークにおいて他のメンバーが行った質問やフィードバックでよいと思ったものを以下の SBI フィードバックの観点で書いてください。

	対象者 例) Cさん	どのような場面で S : Situation	どのような行動が B : Behavior	グループの学びにどのような よいインパクトを与えたか I : Impact
1				
2				
3				

科 目	学 部	学 科	分野・コース	
個人ワーク②	ビジネス学部	ビジネス学科	—	
受験番号	氏 名			採 点

設問2 本日の3時限のグループワークを通じて、あなたが実践し、グループメンバーとともに体験し、観察したリーダーシップ行動について、1時限、2時限の学びを踏まえて、具体的に書いてください。難しかった点、次回行う場合の改善点も記載してください。(800字以内)

	◀100字
	◀200字
	◀400字
	◀600字
	◀800字